



大西脳神経外科病院だより 第26号

ふれいん

発行日：平成24年5月吉日

発行人：学術図書委員会

発行責任者：大西 英之

編集責任者：吉野 孝広

大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

生命と人権を尊重した医療を実践する。

神経疾患の専門的・高度医療を実践する。

常に新しい医学の修得に励む。

救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。

地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する

「新入職員を迎えて」 4月朝礼より

理事長・院長 大西 英之



本日、多くの新入職員を迎え入職式を終えたわけですが、皆さんが今後当院での大きな戦力になるものと期待しています。新しい職場で希望と不安で一杯だと思います、一日も早く慣れ、患者様のため医療のために頑張っていたいただき、若い力が

我々の病院に注がれ、また病院が育っていくことを願っています。間もなく新しい病棟の建築工事が始まり、一年後には素晴らしい病院が出来あがるはずで、今年は準備の年と考え次の飛躍に向けて頑張りましょう。

さて皆さんは大西脳神経外科病院のシンボルマークの意味をご存知でしょうか。このマークは脳の左半球を中心溝、シルビウス溝（外側溝）の所で分け三つの葉としてデザイン化したものです。三つの葉にはそれぞれ病院の理念としてサイエンス（科学）、アート（芸術）、ヒューマニティ（人間愛）という意味が込められています。

まずサイエンスですが、医学はともすれば経験が重要視されるあまり科学的根拠に欠ける意味のない医療が常識として行われていることも多く、我々がこれまで常識と思っていたことが実は逆に患者さんに悪影響を及ぼしているという事が結構あるのです。経験も大切ですが科学的根拠、エビデンスを持ってこそ本当の医療が出来るという意味です。

アート（芸術）というのは様々な側面がありますがまずは専門的技術です。すべての医療技術に対し我々は日々研鑽して弛まぬ努力により技術を高め、一つの芸術的域まで達するようにしなくてはならないと言う「努力目標」でしょうか。勿論そこには先ほどの科学的根拠が必要になります。

最後にヒューマニティ（人間愛）ですが、医療はあくまでも人を対象とするものです。単に疾患に対してだけ機械的に対応するのではなく、人と人とのコミュニケーションを大切にしてヒューマニティを持って患者さんに接して頂きたいという意味で三つの葉が成り立っています。ぜひともこの理念を心にとめて仕事をして頂きたいと思っております。



顧問就任にあたって

看護部顧問 箕輪 敬子

この4月に看護部顧問に就任しました。11年ぶりの医療現場への復帰ですので、戸惑いも多く、早く新しい知識、情報を吸収し職責を果たしたいと思います。

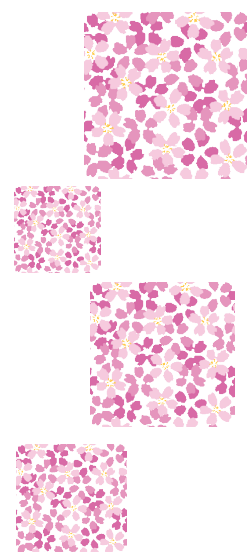
ご承知のように2013年6月には7階建ての新病棟が完成する予定で、手術室が拡充されるとともに40床増床され、ICU病棟、回復期病棟が整備されます。私たちの勤務する病院は国内では有数の超急性期脳神経外科病院として高い評価を得ていますが、これは、これまで10年余り大西院長を始め職員の皆様を着実に積み重ねてこられた結果だと思えます。新病棟の完成により病院機能はさらに充実強化されます。私の主な役割はこの新病棟の機能が十分発揮できるよう、看護師の確保と看護の質の向上への取り組みをサポートする事だと思っています。今年1年は新病棟開設に向けての重要な準備期間です。早急に対策を立て行動に移さなくてはなりません。特に看護師は大幅な増員になりますので、すでに学校等への訪問を始めていますが、その確保には皆さんの協力を得て総力をあげて取り組む必要があります。また高度で緊急性の高いICU医療に対応できる看護師の確保も必要ですし、大幅増員に伴い脳神経外科看護の未経験者も増加しますので、こうした人達に対して適切に業務指導を行うリーダーの

養成、そして新人研修等資質向上への取り組みも急がれます。また看護学生の臨床実習受け入れも決まっており、臨床実習指導者の育成も望まれます。そのためにも現在の研修システムを新たな課題に視点をあてた効果的なものにする必要があります。この機会に皆さんが日々の看護を振り返り積極的に自己研鑽できる環境を整えて行くようにすべきだと思います。

脳神経外科の看護は医学的知識に基づく細心の注意力と迅速で的確な判断力が必要な事は言うまでもありませんが、そうした中でも患者様に寄り添い患者様と御家族に満足して頂ける看護を提供することを大切にすべきと思っています。一般に患者様の言われる「優しい看護師さん」という言葉の中には看護が目標とする精神面、技術面など様々な意味が込められていると思います。看護部に席を置いて1ヶ月半に過ぎませんが、どの部署も熱心で連携のとれた良い病院と言う印象です。縁あってお声を掛けて頂きました。微力ながらお役に立てればと思っています。



看護部顧問 箕輪 敬子さん



2012年 新入職の皆さんを紹介します。



新人研修を終え集合写真をロビーにて

今年も多くの新入職員を迎え、来年の新病棟開設に向けスタートを切りました。

全くの新人から、経験豊富なエキスパートまで様々ではありますが、大西脳神経外科病院のこれからの発展に必要な不可欠な人材であることは間違いありません。希望と不安の入り混じった胸の内は一年後、或いは10年後、自分の病院として誇れるスタッフとして共に働いている事と思います。新入職員の皆さんよろしくお祈りします。共にがんばりましょう!!

これからの病院を支える新入職の皆さん共に頑張りましょう



まずは看護部新入職の皆さんから紹介です

3階病棟勤務になります、北川京子です。これまで、看護師経験は20年あります。資格を取ってから何らかの形で仕事を続けてきたことは私の自慢できるところです。脳神経外科の経験はありませんがこれまで経験したことはこちらの病院で活かすことができると思っています。不器用ではありますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



3階病棟 看護師 北川 京子さん

3階病棟に配属になりました山中です。これまでは外科メインの混合病棟で働いていました。脳神経外科の経験は少ししかないので緊張しています。仕事や職場に早く慣れることができるようにしたいです。休日は睡眠と食事をたっぷりにとってスポーツで気分転換をして頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



3階病棟 看護師 山中 幸代さん

3階病棟に配属されました看護師の吉原です。急性期の病院で働きたくて入職しました。入院時から退院後の生活を考えた看護がで着るようになりたいと思っています。早く慣れて、頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

3階病棟 看護師 吉原 朋子さん



2階病棟に配属になりました水田靖子です。今年度で看護師4年目になります。今回結婚をきっかけに、大西脳外科病院に来ました。脳外科という分野に関してはまだまだ知らないことが多いので、新しい気持ちで仕事に取り組み、知識、技術ともに深めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



2階病棟 看護師 水田 靖子さん

2階病棟に配属になりました井 沙織です。今年1年目でまだまだわからないことばかりですが、これから勉強して、早く現場の戦力になれるように頑張りますので、よろしくお願い致します！普段ダンスとフットサルをしているので、体力だけは自信があります。特技は一応ピアノです。また共通点がある方でもお話していただけたら嬉しいです。よろしくお願い致します。



2階病棟 看護師 井 沙織さん

脳外科急性期病院看護師としてエキスパートを目指す新入職員の方皆さんです

企業で店舗統括事務をしていた頃に体調を崩し3ヶ月間入院しました。この入院生活での看護師さんとの出会いがきっかけで看護師になりました。消化器外科での3年が私の看護経験ですが体力のあるうちに急性期脳外科で学びたく大西脳神経外科病院の門を叩きました。自宅に戻れば大学生と中学生の女子二人の親でもあります。反抗期が長く、私の愛情の向かう先はもっぱら愛犬の“ミルク”です。休日は女子会、三浦春馬の舞台を見に行ったりと気分転換に出かけます。

一日一日を大切に感謝を忘れず看護師として成長できるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



3階病棟 看護師 山路 弘美さん

では！新入職員の皆さんに

先輩からひと言激励の言葉を！



野村さんと吉野さん



「疑問を持って」

3階病棟 看護師 野村 尚美

新入職員の皆様入職おめでとうございます。

これから初めての事ばかりで、戸惑う事や、覚えないうけない事が沢山あり、大変だと思いますが何事においても「なぜ？」と疑問を持ち考えられる様にすることが大切だと思います。私も新人の時は何事においても「なぜ？」と思い、疑問を持つように意識していましたが、最近ではつい仕事に流されてしまう事が多くなり、「なぜ？」と思う事が少なくなっているのが現状です。

そこで、新入職の皆さん！一緒に「なぜ？」と考え、学ぶことでお互いに知識を深めていけたらと思うので、疑問に思った

ことはその場で解決していきましょう。

入職当初は忙しさや、分からない事ばかりで失敗も沢山してしまうと思います。私も失敗ばかりで辞めたいって思うこともありましたが、でも同期の人は同じ悩みを持っていることが多いので自分だけだと思うのではなく同期に話を聞いてもらい、共感を得るだけでもストレスの発散になると思います。先輩方に話を聞いてもらう事は慣れないこともあり気が引けると思うので、同期同士で話をし、徐々に職場にも慣れて行ってもらえたらと思います。勿論私達でよければいつでも話をしてください。これからいろいろと大変なこともあると思いますが、一緒に頑張っていきましょう。

「人生は掛け算」

2階病棟 看護師 室田 香織

新入職員の皆様、入職おめでとうございます。私は、この4月から4年目がスタートしますが、入職時は右も左も解らず不安の毎日で、忙しい業務の中で日々新しい出来事との遭遇…逃げ出したいと考えた事もありました。でも、先輩方に指導して頂いたり、時には食事に行き話を聞いて頂いたりすることで、不安ばかりだった気持ちが自分の看護師としてのこれからについて考えるように変化していきました。何より患者様の目が開いた、歩けるようになった等、変化が見られた時の喜びを感じられる、その一瞬に出会える事がここにいる一番の理由だと思います。

そんな私が新入職員の方にかかる言葉があるとするならば、『人生はかけ算だ。どんなにチャンスがあっても、君が「ゼロ」なら意味がない』（カミミツル）という言葉です。しんどくなった時などにふと思いだ

し凛となれる気がします。気持ちがあれば、小さくても学びや成長があると思います。私自身もゼロの自分にはなりたくない日々努力しています。来年春には、新病棟開設となります。「大西でよかった」「あなたでよかった」と思ってもらえるよう、いつも向上心を持って成長していきたいと思っています。新入職員の皆様と一緒に楽しく頑張っていけたら嬉しいです。



トライやるウィークにて



まだまだ新入職の方々を紹介していきます。まずは医局から！

今年度より勤務させていただきます松島と申します。九州は福岡で生まれ育ち、隣県の佐賀大学にて研修を受けました。慣れない環境にはなりますが、この街でこの病院で勤務させていただけることを心より嬉しく思っています。脳外科医として、医師として、人として、皆様にご指導いただければと思います。不学な未熟者ですが、何卒よろしくお願い致します。



医師 松島 健さん



薬剤部 高見 一徳さん

薬剤部初の男性職員その期待は大きい！

はじめまして、薬剤部の高見一徳です。無事国家試験に合格したばかりの新人です。まだまだ分からない事ばかりで、日々勉強し知識・技術を高め病院に患者様に貢献できるよう頑張りたいと思います。未熟な点や業務にも慣れていないため、職員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますがよろしくご指導お願いいたします。

医事課にも新入職員が入られています。

平成24年2月より、大西脳神経外科病院でお世話になっている医事課三宅直樹です。他の病院でも医事課を経験してきました。

しかし、病院が違えば業務内容も異なっており、医事課の皆様にはまだまだご迷惑をお掛けしている事と思います。新しいことに常に挑戦し続ける当院のように、自分自身常に目標をもち続け、新しいことに挑戦しようと思います。これからもご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



医事課 三宅 直樹さん



医事課 石田 留美さん

3月1日より医事課に配属になりました石田留美です。前職で初めて循環器の外来クラークを経験しました。医師や看護師の方のお手伝いをしたり、患者さんと接したりすることで様々な経験は自分にとって大きな財産となりました。これまでの経験で感じているのは、病院の仕事というものは究極のサービス業ではないかと思っています。未だ慣れることに精一杯ですが、前向きに頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

外来クラークの河野さんです

4月から秘書課の外来クラークとして入職した河野敬子です。他業種で約6年間勤務した後、こちらの病院で働かせていただくことになりました。病院での勤務経験がないため、わからないことも多く皆様にはご迷惑お掛けすることも多々あると思います。先輩方からたくさんの事を学び、一日でも早く医師の事務的な作業を軽減できるよう何事にも向上心を持って頑張っていきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願い致します。



秘書課 河野 敬子さん



リハビリテーション科新入職の皆さんです

4月に入職して2か月が過ぎました。まだまだ分からないことや知らないことが多く、戸惑う毎日です。しかし、ここで日々変化していく方々をみて、自分も理学療法士として力になりたいと感じます。1日も早く仕事を覚えて、皆さんのお役に立てるように努力して参りたいと思います。技術はもちろんですが、様々な視点から物事を考えられる理学療法士になりたいです。そして、この病院で働く一員として日々精進していきたいと思っています。



理学療法士 南 里美さん



作業療法士 梅田 唯さん

今年私は夢であった作業療法士になることができました。大学では実習や勉強はとても大変でしたが同時にやりがいのある仕事だという事にも気づきました。また、大西脳神経外科病院に入職し、これからが作業療法士としての本番です。最初は慣れないことも多く、知識もまだ浅いのでまずは職場に慣れ、知識も少しずつ付けて行けたらと思います。そして出来るだけ早く治療の出来る作業療法士になりたいと思います。

作業療法士の杉本 智美です。生まれも育ちも明石市で、今年兵庫医療大学を卒業しました。地元の雰囲気大好きでそして当院の医療従事者のチームワークの素晴らしさに感動し入職しました。入職しこれまで日々患者様やリハビリテーション科の方々から多くの刺激をもらい学ばせて頂いています。社会人一年目でまだまだ未熟ですが初心を忘れず患者様から信頼される作業療法士に成長できるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。



作業療法士 杉本 智美さん



理学療法士 三上 萌さん

4月から理学療法士として働かせていただいています三上萌です。学生時代、臨床実習でお世話になり、先生方の高度な治療技術に衝撃を受け、是非私もその技術と知識を身に付けたいと思い、この度就職させていただきました。入職して2か月が経ちますが、憧れの先生方と働くことが出来、大変嬉しく思っています。理学療法士としても、社会人としても一年目で、ご迷惑おかけするかと思いますが、頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

臨床検査室には2人の仲間が加わりました

「ME（臨床工学士）って何？」と、よく質問されますが、その答えは「医療機器のスペシャリスト」です。当院初のMEとして、医療機器の安全性を高めるため勤めていきたいと思っています。7年間MEとして働いてきましたが、検査技師も活かせる仕事に就きたいとずっと胸に秘めていました。そして、今年からは念願叶い検査技師としても仕事をさせて頂くことになりました。これからは2足の草鞋で全力疾走していきたいと思っています。



臨床検査技師・臨床工学士 池田 鈺二さん



もう一人検査室の新人さんです

今年4月からこちらで働かせていただいております、臨床検査技師の三宅紗由美と申します。臨床検査技師としても、社会人としても1年目で覚えることが沢山ありますが、先輩方のご指導もあり充実した日々を過ごしております。正確に・迅速に検査を行える検査技師になるために精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。車（四駆）、飲み会の雰囲気大好きです。それと、トランペット吹きます！いつでもお気軽に声を掛けてください。



臨床検査技師 三宅 紗由美さん

新人歓迎会も無事終わり徐々に職場に慣れたころ

毎年恒例の新入職者歓迎会、例年通りなら西明石にあるキャッスルプラザホテルでの開催となるころ、毎回同じところでは面白味も無いとの院長ご意見。早速いくつかの候補から舞子にある「ホテルセトレ」が候補に挙がり、今年はセトレでの開催となりました。テラスから見る明石大橋は絶景のロケーション、こんなところで新入職歓迎会が開催されるのがとっても凄いなと思うのは私だけでしょうか。大盛り上がりのうちに閉会となり親睦も深まったとこで今後ともよろしく願います。



ホテル専用のチャペルで記念撮影



リーバーホテルプラスオーシャンセトレ

2013年 第2ステージに向けて



新館2013年 6月オープン予定

2000年82床でスタートを切った当院が次のステージへ向かうため新館の建設を始めます。開設されれば新たに40床が増床され合計122床になります。建物の大きさで言えば7階建てとなり床面積も今の3倍になる予定です。建物が完成するのは2月ですが、実際に中で診療が開始されるのは6月です。現在各部署スタッフは関係するフロアーの設計に関し設計事務所との意見交換を行いながら最終段階を迎えています。工事中の1年は近隣の方、患者様にもご迷惑をおかけする事と思いますが、職員一同より良い医療をめざし精進して参ります。ご期待頂けたらと思います。

関心

天体観測 ～金冠日食見ましたか？～

金冠日食見ました？

2012年5月21日に、日本の太平洋側の広い地域で金環日食（または金環食という）が見られました。太陽が環になって見えるという、非常に珍しい、あの金環日食です。しかも今回は離島などの限られた地域ではなく。東京や大阪、名古屋など、太平洋側を中心とした広いエリアの大都市で見ることができました。

日本総人口の3分の2にあたる8300万人の生活圏で金環日食が見られるうえに、これほど広範囲で見られるのは西暦1080年以来932年ぶりの出来事と言われれば見ないとなんだか損の様な気になって、急いで日食メガネを買いに走った方も多かったのではないのでしょうか。そういう私もですが…

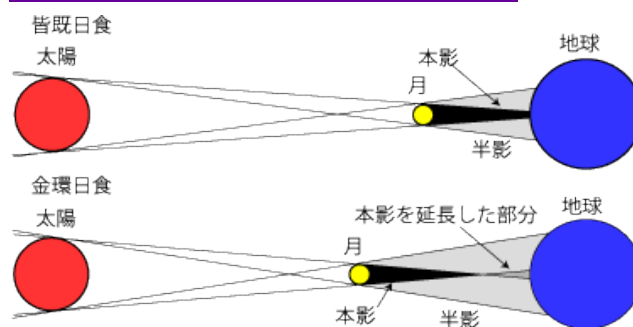
日食（皆既日食や金冠日食）は周期的に年2～4回起こっており世界のどこかで観測されることとなります。しかし場所を限定すると、例えば以前金冠日食が兵庫県（神戸市）で見られたのは1730年7月15日と280年も前の事になり生きているうちに見られるかもわからないようなものです。

日食って何？

日食は、地球にいる私たちと太陽の間に月が入り、太陽が月に隠されて欠けて見える現象です。言い換えると、私たちが月の影に入ることです。極たまにしか見ることが出来ないのは、地球の周りを回る月の軌道面が太陽の周りを回る地球の軌道面に対して約5°傾いているためです。傾きがなければ1ヶ月に1回は必ず太陽と地球の間に月が来ることになるのでその時日食が起こるはずですが。傾きのために軌道の交点が年に2～4回しかないという事になるようです。今回明石市でも見ることができるのはその軌道の交点が日本付近にある為なのです。



金冠日食と皆既日食



太陽の直径は月の直径の約400倍ありますが、地球から太陽までの距離も地球から月までの距離の約400倍あるため、日食のときに太陽と月の見かけの大きさはほとんど同じになります。その為、皆既日食のときには太陽の周りの「コロナ」や「ダイヤモンドリング」を綺麗にみることが出来るのです。

しかし太陽と月がほぼ同じ大きさに見えるといっても、その見かけの大きさは常に同じではなく、少し変化して見えます。地球の軌道と月の軌道はどちらも楕円のため、地球から太陽や月までの距離が日食ごとに異なるからです。これによって金冠日食や皆既日食といった異なる形で見えるのです。

宇宙の大きさを垣間見る

難しい話になりましたが、実際には地球と月の距離も38万km、太陽までだと1億5千万kmもの距離があり、図のように単純に描ける現象ではないのです。それだけに今回の金冠日食は間近に見れる「宇宙の神秘」として必見と言えましたが皆さんはいかがでした？

今年は6月に金星が太陽の前を通過する金星日面通過や8月には月が金星の前を通り金星を隠してしまう金星食など楽しみな天文現象が目白押しです。オリンピックの年でもあり金にちなんだ天文現象は色々な意味で日本に希望と勇気を与えてくれるのかもかもしれません。

編集後記

ぶれいんの印刷も結局6月に入ってしまった、じめじめした感じに暑さも加わり体調も今一つ…とダラダラしていても仕事は終わりません、気を引き締めてようやく編集後記までたどり着きました。

今回は新入職員にスポットを当て編集しました。さすがに全員の原稿を載せると紙面の都合がつかず8ページ拡大版となり、皆さんの思いを原稿に感じながら就

職したての自分と重ね、作らせて頂きました。新しく何かをする時、そこには大きな動機があります、しかし時間と共にその思いは薄れ何時しか消えてしまいそうになります。そんな時新入職員の皆さんには「ぶれいん」を見て頂き「ああこんなことを思ってここに来たんだ」と、初心に帰るきっかけにしてもらえれば嬉しい限りです。（吉野）

